

第6学年 図画工作科学習指導案

題材名 「名画の中のわたし」 (絵に表す)

本題材の指導にあたって

このような題材で

- 本題材のねらいは、名画のよさや美しさに関心をもち、自分なりの感じ方や見方で名画を鑑賞し、名画を模写しものの中に自分自身を名画との関わりを考えた上で表現するものである。
題材開発にあたっては、
 - ・ 子どもたちに関心があり、自分自身が入り込みたくなるような名画を探した。
 - ・ 教師が名画に入り込んだ参考作品をつくった。
 - ・ 名画を模写するときの、線描や彩色の工夫を資料化した。
- 主な指導の内容は、次の通りである。
 - ・ 名画に親しみを感じ関心をもった名画を模写し、それに自分自身をかき込んだ作品をつくる意欲をもつこと。
 - ・ 名画の中に、自分がどのように入り込むかを考え、作品づくりの見通しをもつこと。
 - ・ 水彩絵の具の特性を生かして、彩色方法や筆づかいを工夫しながら、表現すること。
 - ・ 名画の背景に興味をもち、そのよさや美しさを味わいながら、友達の作品のよさに気づくようにすること。
- 本題材の価値は、次の3点である。
 - ・ 好みや行動などに個性的な面が育ってくるこの時期に、様々な名画にふれ、自分が好きな名画を模写できること。
 - ・ 作者の思いを想像しながら、自分なりの解釈で名画を鑑賞し、その中に自分自身を表現できること。
 - ・ 彩色の具による彩色の技法や筆づかいの方法を組み合わせ、新たな方法を考えながら表現できること。
- 教科書との関連においては、6年生図画工作科下巻の「教科書美術館」(鑑賞)があり、作者の意図を作品から解釈しようとする点において本題材との関連がある。また教科書裏表紙の「アートであそぶ」には、ゴッホの絵を立体にした作品に入って遊ぶ子どもたちの写真も本題材の参考となる。

このような子どもだから

- 興味・関心
昨年の6年生が取り組んだ「名画を描こう」の掲示作品をみて、自分たちもやってみたいという思いを強くもっている。ただ、人物画や作品の模写などの経験はない。
- よさと可能性
1学期に「わたしの町」をドライポイントで表現している。そのとき、遠近のある風景を根気強く細部にわたって表現することができた。模写は初めてであるが、名画の表現方法の解明から、それに基づく表現まで意欲的に取り組むことが期待できる。
- 課題点
絵の具による表現技法が十分に使いこなせていない子がいる。思いにあった表現技法の習得に対する支援が必要である。

このような子どもに

- 名画に対する自分なりの解釈をもち、その名画を模写し、それに自分自身をかき込んだ作品をつくる意欲をもつ。
- 活動の振り返りを図工ノートに記録しながら、構想を深めていくことができる。
- 自分の思いに合わせて、彩色方法や筆づかいを工夫しながら表現する。
- 名画に興味をもち、そのよさや美しさを味わいながら、友達の作品のよさに気づく。

このような展開で

- | | | |
|---------------------|---|-------------------------------------------------------------|
| (1) 鑑賞活動 「主題をもつ」 | → | ○ 絵の中に入ってみたいくなるような名画と、教師が名画の中に入った資料を提示する。 |
| (2) 鑑賞活動 「主題を明確にする」 | → | ○ 自分のラフスケッチを名画に重ねて、どの位置にどのようなポーズで入り込むかということを確認め合う交流活動を設定する。 |
| (3) 鑑賞活動 「主題を表現する」 | → | ○ 彩色の技法・筆づかいの技法の資料提示をする。
○ 彩色技法を確認め合う交流活動を設定する。 |
| (4) 鑑賞活動 「よさを認め合う」 | → | ○ 作品のよさを交流し合う鑑賞会を設定する。作品紹介カードと鑑賞カードを活用する。 |

指導計画（全9時間）

学習過程	時間目	鑑賞活動	主な学習活動と内容	展開の工夫
感受・着想	1 随時	<p>○ 鑑賞活動 「主題をもつ」ための鑑賞活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 名画の鑑賞 ・ 教師作品の鑑賞 	<p>1 題材に出会い、活動への関心や意欲を高めながら、自分の主題をもつ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>模写する名画を選び、自分がどのように入り込んでいくのかテーマを考えよう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ○ 名画をプロジェクターでみながら、作者が表現したいことについて話し合う。 ○ 名画の中に教師が入り込んだ作品をみて、そのおもしろさについて話し合う。 ○ 福岡市美術館での作品鑑賞をしたり、先生が提示した様々な名画の資料を鑑賞したりすることで、自分が入り込んでみたい名画を決める。 ○ 名画を選び、自分がその作品にどのように入り込んでいくのかテーマを考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 子どもたちの発言を内容によって分類して板書することで、作品には様々な鑑賞の観点があることに気づくようにする。 ○ 名画を模写することの楽しさとその手順を説明し、活動への関心を高める。 ○ あらかじめ隠しておいた教師が入り込んだ部分を見せ、その作品のおもしろいところを見つけるようにする。 ○ 名画をさがす期間を設け、自分でさがすことや決めることができない子には、個別に相談に乗るようにする。 ○ 福岡市美術館で自分が気に入った作品を見つけた場合は、その作品のレプリカを取り寄せるようにする。
発想・構想	2	<p>○ 鑑賞活動 「主題を明確にする」ための鑑賞活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 友達の活動の交流 	<p>2 名画の中に、自分がどのように入り込むかを考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>名画の中に自分がどのように入り込むか、友達の考えを参考にしながら考えよう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ○ 自分の姿のラフスケッチを使い、名画の上に重ねて、どの位置にどのようなポーズで入り込むかを考える。 ○ 入り込み方について交流活動を行い、友達の考えを参考にする。 <p>3 作品づくりの計画を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ アイデアスケッチに作品の場面構成を表し、表現活動の配時計画を立てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 名画の表現していることと、自分がその名画にどのように関わっているかを言葉で書くようにする。 ○ 名画のコピーをとり、その上に自分の姿のラフスケッチを重ねながら考えるようにする。 ○ 友達の活動を交流することで、友達の名画への関わり方や自分の姿の表現のよさに気づくようにする。 ○ アイデアスケッチに自分の主題を整理しながら表現したり、配時計画を立てたりすることで、自分の主題を明確なものにする。

表現	<p>3 4</p> <p>○ 鑑賞活動 「主題を表現する」 ための鑑賞活動</p> <p>5 6 7 8</p> <p>・ 彩色技法の交流</p>	<p>4 線描をする。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">名画を模写し、自分を入り込ませよう。</p> <p>○ 名画を模写し、その中に自分を入り込ませる。</p> <p>5 彩色をする。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">彩色方法を確認しながら、自分が入った名画をかこう。</p> <p>○ 元絵の彩色方法を確認する。</p> <p>○ 水彩絵の具の基本的な使い方を確認し、その特性を生かして、元絵の色を表す方法を試してみる。</p> <p>○ 彩色方法の技法を交流し合う。</p> <p>○ 彩色方法を工夫しながら、元絵の色に近い色で名画を表していく。</p> <p>○ 元絵の彩色方法を生かして彩色し、名画の中に自分を入り込ませていく。</p> <p>○ 友達の作品のよさを鑑賞し、それを自分の作品に生かしたり、自分の活動を見直したりする。</p>	<p>○ 名画の主要な線から鉛筆で模写していくようにする。</p> <p>○ 人物画では、表情の模写を正確にできるように支援する。</p> <p>○ 試しの紙に色を付け、元絵を比べるようにする。</p> <p>○ 筆づかひの技法の資料を提示し、元絵の筆のタッチを再現できるようにする。</p> <p>○ 試しの色、試しの筆づかひをファイルし、彩色するときの資料として活用できるようにする。</p> <p>○ 彩色の技法を交流することで、自分と似た技法の友達と彩色方法について、情報交換の場をもつ。</p> <p>○ 彩色方法の技法ファイルを参考にしながら、表すようにする。</p> <p>○ 名画の中に入り込んだ自分を彩色するにあたって、試しの紙に色を付け、元絵と比べながら彩色し、名画に入り込ませるようにする。</p>
鑑賞	<p>9</p> <p>○ 鑑賞活動 「よさを認め合う」 ための鑑賞活動</p>	<p>6 最後の一笔をかき入れ、作品を完成させる。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">最後の一笔をかき入れて、作品の鑑賞会を行おう。</p> <p>○ 絵の中で一番大切な部分を最後にかき入れる。</p> <p>7 鑑賞会を行い、自分や友達の作品のよさを交流し合う。</p> <p>○ 自分の作品の主題や表現の工夫、最後の一笔について発表する。</p> <p>○ 友達の説明を聞き、作品のよさを鑑賞カードに書いて渡す。</p>	<p>○ 最後の一笔の理由と、それをどのようにかき入れるか説明できるようにする。</p> <p>○ 友達の絵の説明を静かに聞き、よさを見つけて、鑑賞カードに書くようにする。</p>

第6学年

画工作科学習指導案（9／9）

本 時 公開授業Ⅰ 場所：6年 教室


本時の目標 ○ 最後の一笔をかき入れて作品を完成させ、作品鑑賞会で作品のよさを確かめあることができる。

授業仮説 ○ 作品のよさを紹介し合うことで、互いのよさに気づきながら、完成の喜びを味わうことができるであろう。

準 備 (児童) 絵の具道具、図工ノート

(教師) 作品カード、鑑賞カード、絵の具道具、試し紙

本時展開

主 な 学 習 活 動 と 内 容	教 師 の 支 援
<p>1 本時のめあてを知る。</p> <div data-bbox="304 507 891 576" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">最後の一笔をかき入れて、作品の鑑賞会を行おう。</div> <p>2 最後の一笔をかき入れ、作品を完成させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 絵の中で一番大切な部分を最後にかき入れる。 <ul style="list-style-type: none"> ・ あらかじめ考えておいた最後の一笔の部分に色をつける。  <p>鑑賞活動 「よさを認め合う」 ための鑑賞活動</p> <p>3 鑑賞会を行い、自分や友達作品のよさを交流し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 自分の作品の主題や表現の工夫、最後の一笔について発表する。 ○ 友達の説明を聞き、作品のよさを鑑賞カードに書いて渡す。 <p>4 本時学習のまとめをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 本題材の活動の反省をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 最後の一笔の理由と、それをどのようにかき入れるかを事前に作品カードに書いておき、それを説明する練習をしておくようにする。 ○ 10分間程度で仕上がるぐらいの部分を残しておくようにする。 ○ 彩色するときには、色づくりを確かめるための紙を配布する。 ○ 友達の絵の説明を静かに聞き、よさを見つけて、鑑賞カードに書くようにする。 <div data-bbox="1137 1074 1823 1281" style="border: 3px double black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>鑑賞活動 「よさを認め合う」</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 最後の一笔の説明 2 模写の工夫と本人が入り込んでいる面白さ </div> <ul style="list-style-type: none"> ○ 図工ノートに自分が記録したことを見ながら、これまでの活動を振り返るようにする。

図工ノート「名画の中のわたし」

小学校 年 組 名前

題材名

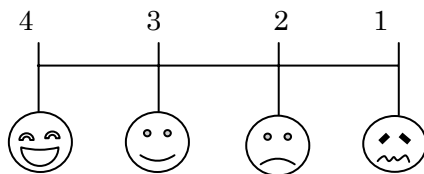
自分の思い（表したいこと）

イメージスケッチ

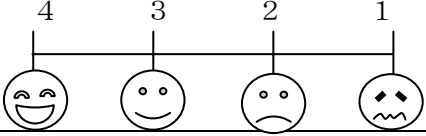
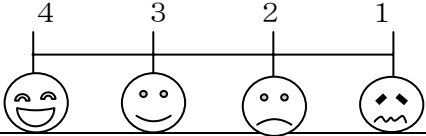
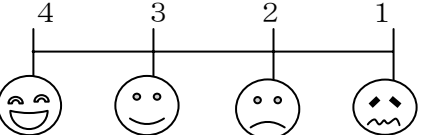
題名（作品ができあがってから少し変えていいです。）

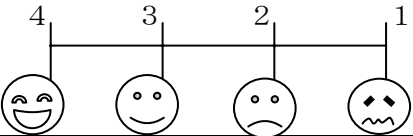
○ 自分の思いはうまく表せましたか。

○次にしたいことは何ですか。



4 （とてもよく表せた） 3 （まあまあ表せた） 2 （すこし表せなかった） 1 （表せなかった）

時	活動したこと（言葉・絵・写真など）	ふりかえり	先生から
3 ・ 4 表現 I		○ 自分の思いはうまく表せましたか。	
			
5 ・ 6 表現 II		○ 自分の思いはうまく表せましたか。	
			
7 ・ 8 表現 III		○ 自分の思いはうまく表せましたか。	
			

鑑賞会 発表したいこと 最後の一笔について 自分の入りこみ方や色で工夫したこと	鑑賞会の写真 
----------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------

4 (とてもよく表せた) 3 (まあまあ表せた) 2 (すこし表せなかった) 1 (表せなかった)